第52回（令和６年度）
長崎市シルバー作品展

開催報告書



1　第52回長崎市シルバー作品展　開催概況

開催日時	• 令和6年９月27日(金)～30日(月)　４日間 • 10時00分～16時00分（最終日は15時00分まで）
開催場所	• 長崎市役所2階　多目的スペース（長崎市魚の町4-1）
主催者	• 長崎市　長崎市老人クラブ連合会
出展作品数 入場者数	• 出展作品数　416点　　入場者数　1,162人

2　シルバー作品展の概要

目的

- **高齢者の生きがいづくり**として、また、長年にわたり長崎の発展に尽力した高齢者の長寿を祝うことを目的とした**「敬老の日」行事の一環**として行われている。

歴史

- 昭和48年から**長崎市老人クラブ連合会（市老連）との共催**で開催しており、**今年で52回目**。

表彰

- **出展者に対する表彰を行った**
- 個人在宅部門/個人施設部門/団体部門　**最高齢出展者　１名ずつ　計３名**

3　出展申込状況

- 申込者　市内在住の62歳～104歳のかた
- 出展数　416点　（個人の部　388点　/　団体の部　28点）

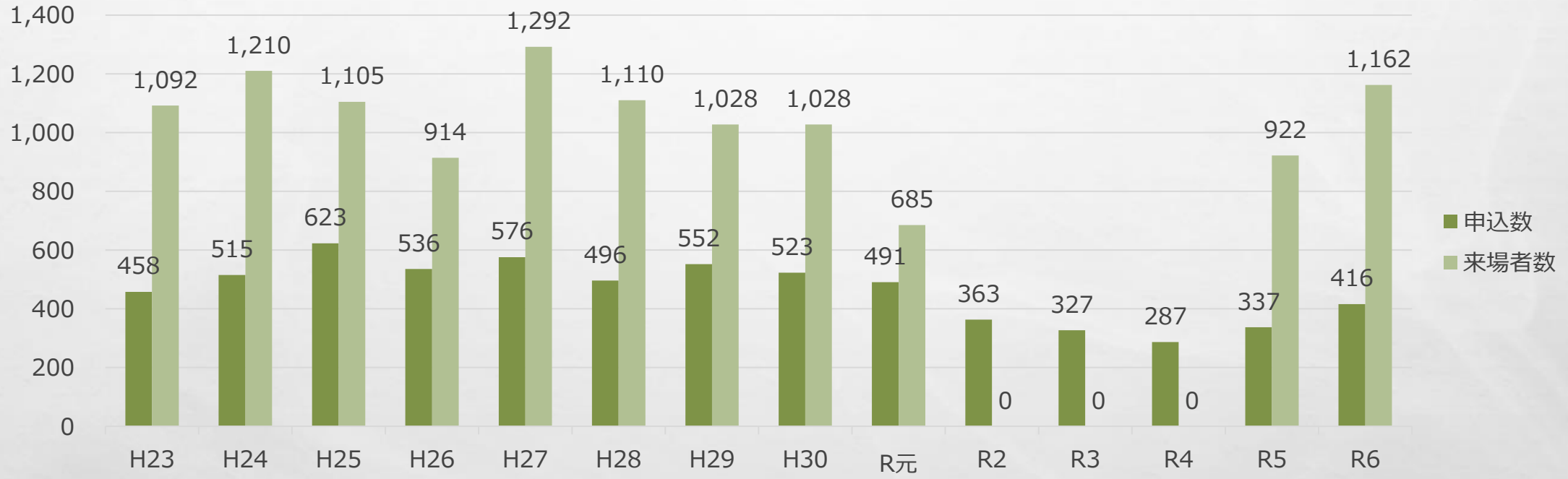
年代別出展数（団体作品は団体内の最高齢者の年齢で計上）　　単位：点

年度/年代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	不明	合計
R6	17	102	178	110	9	0	416
R5	17	97	139	77	6	1	337
前回比	0	5	39	33	3	▲1	79

出展ジャンル　　単位：点

年度/種別	手工芸	絵画	書	写真	その他	合計
R6	290	55	34	11	26	416
R5	235	35	25	10	32	337
前回比	55	20	9	1	▲6	79

4　出展作品数･来場者数推移



※R元年度は台風接近により展示日数が4日間から3日間に減少
※R2～R4年度は展示予定で出展申込受付を行ったが、新型コロナウイルス感染症蔓延のため開催中止

5　開会式

開催日時　令和６年９月27日（金）9:40～10:00

場　　所　長崎市役所2階　市民利用会議室（展示会場横）

出 席 者　長崎市議会議長　岩永　敏博　様（来賓）

長崎市長　鈴木　史朗（主催者）

長崎市福祉部長　山口　伸一（主催者）

長崎市老人クラブ連合会　会長　北野　健一郎（主催者）

長崎市老人クラブ連合会副会長　瀧口　京子（主催者）

次　　第　主催者挨拶（市長・市老連会長）

来賓祝辞（市議会議長）

すこやか長寿賞　表彰

テープカット　展示会場開場

受賞者記念撮影、プレス取材（NBC長崎放送、長崎新聞）





6　出展者表彰（すこやか長寿賞・個人在宅の部）

- 氏名　小森　キクエ　様
- 年齢　101歳

作品名「人形」

デイサービスに通われた際、毎回こつこつと縫いながら１か月かけて製作。お子さんやお孫さんから「可愛いね」と喜ばれるのが何より楽しみ。

- 喜びのコメント

「普段から編み物が好きで、楽しみながら作った。表彰されてうれしい。」

- 贈呈

市長表彰状、記念品（写真立て）



6　出展者表彰（すこやか長寿賞・個人施設の部）

- 氏名　田島　チミ　様
- 年齢　102歳
- 作品名　「太陽」

　梅雨の真っ只中、太陽の文字を書くことで

明るくなれたらという気持ちで製作された

- 贈呈

　市長表彰状、写真立て



6　出展者表彰（すこやか長寿賞・団体の部）

- 氏名　今里　フシノ　様
- 年齢　104歳
- 作品名　「四季の花」

  ほかの施設入所者の皆さんと一緒に4カ月かけて制作。

  今里様は花紙を一つひとつ丁寧に丸める役割をされた。
- 贈呈

  市長表彰状、写真立て



8　作品展示の様子①













8　作品展示の様子②













9　周知・パンフレット

作品募集



作品展開催



パンフレット



10　メディア取材①（NBC　9/28）

NBC 長崎放送

クラウド環境、サテライト環境でのビジ
支援に特化

ホーム　テレビ　ラジオ　ニュース・天気　テレPlus

大谷翔平、特大54号3ラン！“55－55”の大記録に王手、3安打で打率.308に上昇　歓喜の地区優勝から一夜明

101歳の作品も「シルバー作品展」長崎市役所



2024年9月28日(土) 06:00

長崎市内に住む60歳以上の人の作品を集めた「シルバー作品展」が長崎市役所で行われています。

「シルバー作品展」は、制作を通して高齢者の生きがいづくりにつなげようと、長崎市老人クラブ連合会が市と共同で開いている展示会です。市内に住む60歳以上の人が手がけた工作や絵画など400を超える作品が並んでいます。



このうち、「人形」をおよそ1か月かけて作ったのは小森キクヱさん101歳。在宅しながらひとりで作品を作った最高齢として表彰を受けました。

個人作品（在宅）最高齢小森キクヱさん（101）：
「みんなから喜んでもらってね。長生きの秘訣はありますか？別に長生きって。こんな人形ば作るとが毎日の楽しみになって。」

作品展は土日も開場して今月30日まで市役所2階多目的スペースで開催されます。

10　メディア取材②（長崎新聞　9/28）



個人部門（在宅）で表彰された小森さん＝長崎市役所

101歳小森さん「楽しく作った」

「シルバー作品展」30日まで長崎市役所

長崎市内の60歳以上が創作した作品を展示する「第52回長崎市シルバー作品展」が27日、市役所2階多目的スペースで始まった。30日まで。

高齢者の生きがいづくりと「敬老の日」行事の一環で、市と市老人クラブ連合会が1973年から開催。62歳から104歳までの作品416点が並び、個性豊かな絵画や手工芸品などが来場者の目を楽しませている。

開催に合わせ、最高齢の出展者の表彰式があった。個人部門（在宅）は小森キクエさん(101)、同（施設）は田島チミさん(102)、団体作品は今里フシノさん(104)が選ばれた。小森さんは約1カ月かけて、毛糸や布を使い女の子の人形を制作。「普段から編み物が好きで、楽しみながら作った。表彰されてうれしい」と笑顔で話した。

展示は午前10時～午後4時（最終日は午後3時まで）。入場無料。

（村瀬晴香）

第52回　長崎市シルバー作品展　開催報告書

発行者　長崎市福祉部高齢者すこやか支援課　総務係

発行月　令和６年（2024年）10月